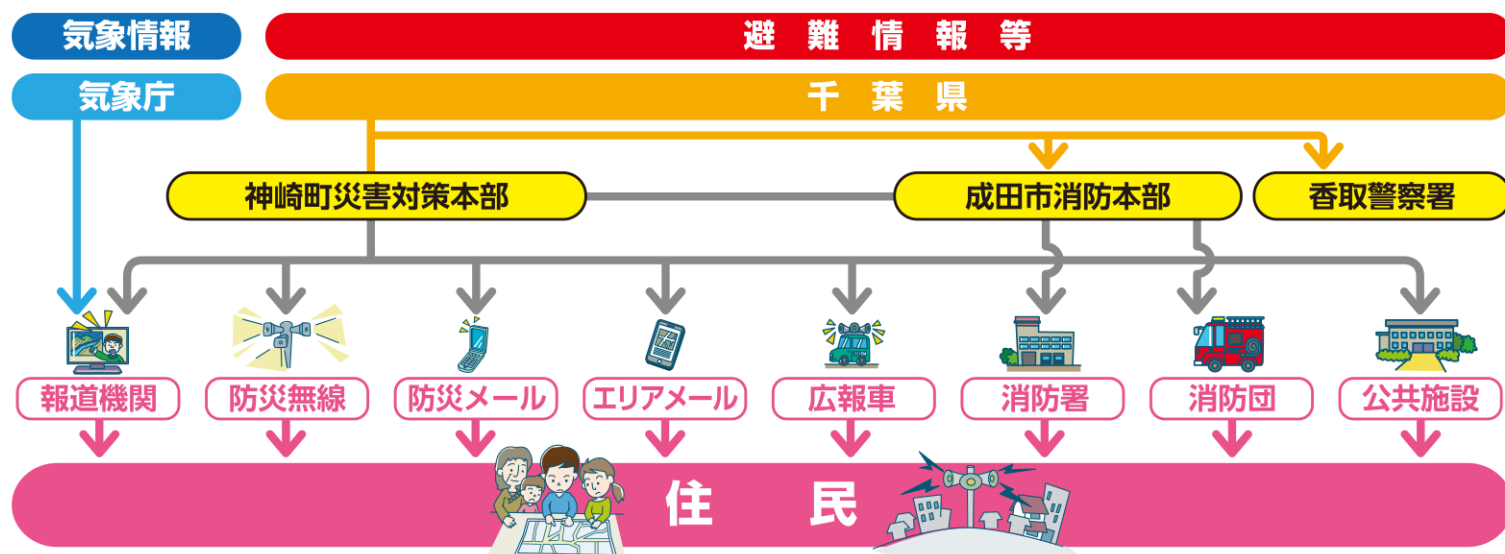


情報伝達経路



神崎町から発令される避難情報

水害、土砂災害が発生する恐れがある際に避難行動を促す「避難情報」は、「警戒レベル」の表示と併せて、発令します。避難のタイミングを見極める基準の一つとして、どのレベルで避難すべきか家族で話し合っておきましょう。

警戒レベル	避難行動	避難情報等	気象庁などから出る情報
レベル 5	すでに災害が発生している状況 命を守るための最善の行動を取る	災害発生情報	氾濫発生情報、大雨特別警報など
レベル 4	安全な場所へ、 全員避難	避難勧告／避難指示	土砂災害警戒情報、氾濫危険情報など
レベル 3	高齢者など、避難に時間を要する方は避難 その他の方は避難の準備をする	避難準備 高齢者等避難開始	氾濫警戒情報、洪水・大雨警報など
レベル 2	避難行動の確認	注意情報等	洪水・大雨注意報など
レベル 1	心構えを高める	早期注意情報等	早期注意情報など

特別警報について

気象庁は、平成25年8月30日に「特別警報」の運用を開始しました。

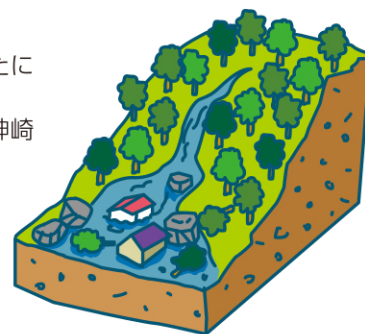
警報の発表基準をはるかに超える豪雨や大津波等が予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合、新たに「特別警報」を発表し、最大限の警戒を呼び掛けます。

特別警報が出た場合、お住まいの地域は数十年に一度しかないような非常に危険な状況にあります。周囲の状況や神崎町から発表される避難指示・避難勧告などの情報に留意し、ただちに命を守るための行動をとってください。

「特別警報」が発表されたら、ただちに命を守る行動をとってください。

特別警報が発表されたら

- ・尋常でない大雨や津波等が予想されています。
- ・重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。
- ・ただちに身を守るために最善を尽くしてください。



特別警報の発表基準	現象の種類	基 準	
	大 雨 (土砂災害・浸水害)	台風や集中豪雨により数十年に一度の降水量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合	
	暴 風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により	暴風が吹くと予想される場合
	高 潮		高潮になると予想される場合
	波 浪		高波になると予想される場合
	暴 風 雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合	
	大 雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合	
	津 波	高いところで3メートルを超える津波が予想される場合(大津波警報を特別警報に位置づける)	
	火山噴火	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合(噴火警報(噴火警戒レベル4以上)及び噴火警報(居住地域)を特別警報に位置づける)	
	地震(地震動)	震度6弱以上の大きさの地震動が予想される場合(緊急地震速報(震度6弱以上)を特別警報に位置づける)	

表中の“数十年に一度”の現象に相当する降水量等の客観的な指標は気象庁ホームページで公表しています。<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/tokubetsu-keiho/>